

日本小児血液・がん学会
会員 各位

いつも本学会の活動にご協力いただきありがとうございます。

JSPHO ニュース第 88 号をお送り申し上げます。

是非、ご一読ください。



◆◆日本小児血液・がん学会最新情報◆◆



(1)がんの子どもを守る会「海外留学助成」募集開始のお知らせについて

小児がんに関わる若手の医療者が、海外の医療施設や研究・教育施設等に留学することにより、小児がん医療に関する高度な知見や資格・技術等を習得・取得し、広く小児がん医療及び患児・家族の療養環境の向上に寄与できることを目的として、「がんの子どもを守る会 海外留学助成事業」の公募が下記要領で開始されました。

貴施設において、海外留学予定で下記条件に合致する先生がいらっしゃいましたら、がんの子どもを守る会 HP を参照の上、奮ってご応募ください。

<募集要項>

【受賞人数】 1 名

【助成期間】 2 年

【助成金額】 4,000,000 円（総額）／ 助成金の使途は留学にかかる費用全般

【募集期間】 9 月 1 日～10 月 29 日（必着）

・がんの子どもを守る会 海外留学助成募集要項 2021 PDF

（ <https://www.jspho.org/files/oshirase/20210902.pdf> ）

【詳細・お申込先】 がんの子どもを守る会

http://www.ccaj-found.or.jp/activities/research_studies/porf_abroad/

(2)2021 年度第 3 回小児・AYA 世代のがんの長期フォローアップ研修会

第 3 回研修日程変更が下記の通り変更となりました。

<開催日時>

旧) 2021年12月18日(土) 9:00~16:00 (予定)

↓

新) 2021年12月25日(土) 9:00~16:00 (予定)

開催形式 : Web (Zoom ミーティング)

受講申し込みは 2021年11月1日(月) 9:00 から 11月5日(金) 15:00 まで

詳細 URL はこちらです。

<https://www.jspho.org/lifetime-care-and-support/guideline/index.html>

(3)米國小児関連学会 (PAS Meeting) 2022 年度学術集会における発表者推薦について
日本小児科学会より、米國小児関連学会 (PAS Meeting) 2022 年度学術集会における発表者推薦依頼がございました。

添付の推薦要領をお目通しいただき、推薦基準に合致する会員で、本会からの推薦を希望される方は、下記書類を事務局までご送付ください。

- ・履歴書 (英文)
- ・英文抄録 (米國小児科関連学会 2022 年度学術集会ホームページの記載に準拠したものであること)

<https://www.emedevents.com/c/medical-conferences-2022/pediatric-academic-societies-pas-annual-meeting-2022>

- ・推薦状 (書式自由)

※送付期限 : 10月8日(金)

▼推薦要領

<https://www.jspho.org/files/oshirase/20210826.pdf>

【本件の問合せ先・送付先】

日本小児血液・がん学会事務局

Email : jspho@asas-mail.jp

(4)第4回小児リンパ管疾患シンポジウム開催について

第4回小児リンパ管疾患シンポジウム開催についてお知らせがございました。

開催日時 : 2021年10月17日(日) 14:00~16:00

(概要 https://www.jspho.org/files/oshirase/20210825_2a.pdf)

(ポスター https://www.jspho.org/files/oshirase/20210825_2b.pdf)

関連 URL はこちらです。

<http://www.lymphangioma.net/sessionsN.html>

(5) 日本医学会連合事務局 より、下記お知らせがございました。

【日本学術会議緊急フォーラム「新型コロナウイルス感染症の災害級流行急拡大への対応」】

日時：2021/9/11（土）13：25～16：10 ※13：30 より開始

開催地：オンライン開催（YouTube ライブ配信 9/11(土)13：25～9/20(月)10:00 まで視聴可能）

http://www.scj.go.jp/ja/event/2021/link/315-s-0911_link_2.html

<開催概要>

<http://www.scj.go.jp/ja/event/2021/315-s-0911.html>

<開催概要（PDF 版）>

<http://www.scj.go.jp/ja/event/pdf3/315-s-0911.pdf>

定員：なし

対象：どなたでも参加いただけます

参加費：無料

申込み：事前申込不要。※8/30～9/8 までこちらにて事前質問を受け付けます。

問い合わせ：日本学術会議事務局審議第1担当第二部担当 メールアドレス：nibu-scj@cao.go.jp

主催：日本学術会議第二部、一般社団法人日本医学会連合

後援：日本生命科学アカデミー

【詳細・お問合せ】

Japan Cancer Forum 2021 公式ホームページ

<https://www.japancancerforum.jp/>

(6) 国立研究開発法人科学技術振興機構より、下記お知らせがございました。

[[JST/JICA] 地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム（SATREPS）令和4年度 研究提案募集開始]

【募集期間】 令和3年9月7日（火）～ 令和3年11月8日（月）正午

【詳細情報】 <https://www.jst.go.jp/global/koubo.html>

■公募概要（予定）

*応募要件：

日本国内の大学や研究機関、企業などに所属して、国際共同研究の研究代表者としての責務を果たし、全期間において国際共同研究に従事できること。
その他、責務等も記載していますので、公募要領の記載内容をご理解のうえ応募してください。

*対象分野：

環境・エネルギー／生物資源／防災

（注） 感染症分野については、平成28年度より国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）が公募を行っています。詳しくは、AMEDの公式サイト

（https://www.amed.go.jp/koubo/20/01/2001B_00024.html）をご参照ください。

*研究期間：3～5年間

*予算規模：1課題あたり、1億円程度／年

（内訳）JST：委託研究経費3,500万円程度／年

JICA：ODA技術協力経費6,000万円程度／年

■公募説明会（JST、JICA主催）

新型コロナウイルスの感染拡大に配慮し、
オンライン会議システムZoomを利用したウェビナー形式で公募説明会を開催いたします。
説明会参加には、事前登録が必要です。下記リンクより事前登録を行ってください。
※登録時に入力いただくご氏名、ご所属・役職、メールアドレスは、参加登録の確認のみに使用し、他の用途で使用することはございません。

日時：2021年9月14日（火）14:00～16:00

（環境・エネルギー/生物資源/防災分野）

登録用URL：https://zoom.us/webinar/register/WN_KKDkUmJxSMYzXMToiBmidg

内容：JSTとJICAより、本プログラムの概要、公募に関するご案内、経費の枠組みなどについてご説明する予定です。

<お問合せ>

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）

国際部 SATREPS グループ 担当：柳井、猿渡

e-mail：global@jst.go.jp

[開発と科学の共創セミナー（JICA 主催）開催]

日時： 2021年10月8日（金）13:00～14:40

開催方法： オンライン（Microsoft Teams）

内容： 科学を開発に取り込むことで、より効果的な開発途上国の課題解決を実現することをめざし、ODA 事業として取り組む地球規模課題や開発援助の潮流、途上国の重点課題について、JICA が解説いたします。今回のセミナーでは防災領域とカーボンニュートラル領域を取り上げる予定です。

※本セミナーは令和4年度公募に係る説明を行うものではありません。

申込方法： 9月17日（金）頃、JICA ホームページ

（<https://www.jica.go.jp/event/index.html>）にてご案内します。

<本セミナーについてのお問合せ>

独立行政法人国際協力機構（JICA）

ガバナンス・平和構築部 STI・DX 室 担当：山岸、吉住

e-mail：gpgsd@jica.go.jp

(7)久光製薬株式会社・協和キリン株式会社よりお知らせがございました。

「経皮吸収型 持続性疼痛治療剤「フェントステープ」の小児がん疼痛患者への効能又は効果ならびに用法及び用量に関する承認事項一部変更承認を取得（2021年8月25日）」

<一部変更承認で追加された効能又は効果、用法及び用量>

【効能又は効果】

小児：

非オピオイド鎮痛剤で治療困難な下記における鎮痛（ただし、他のオピオイド鎮痛剤から切り替えて使用する場合に限る。）

○中等度から高度の疼痛を伴う各種がん

【用法及び用量】

小児：

〈がん疼痛〉

他のオピオイド鎮痛剤から本剤に切り替えて使用する。

通常、小児（2歳以上）に対し胸部、腹部、上腕部、大腿部等に貼付し、1日（約24時間）

毎に貼り替えて使用する。

初回貼付用量は本剤貼付前に使用していたオピオイド鎮痛剤の用法及び用量を勘案して、6歳以上の場合は、0.5mg、1mg、2mg、4mg、6mgのいずれかの用量を選択し、2歳以上6歳未満の場合は、0.5mg、1mg、2mgのいずれかの用量を選択する。

その後の貼付用量は患者の症状や状態により適宜増減する。

▼添付文書はこちらをご確認ください。

https://www.info.pmda.go.jp/go/pack/8219701S1025_1_24/?view=frame&style=XML&lang=ja

(8)日本医学会より会員の皆様へお知らせ

日本医学会よりお知らせがございました。

・「ウパダシチニブ水和物製剤の最適使用推進ガイドライン（既存治療で効果不十分なアトピー性皮膚炎）について」

https://www.jspho.org/files/oshirase/20210903_3.pdf

関連 URL は以下のとおりです（リンク先の医薬・生活衛生局をクリックして下さい）。

<https://www.mhlw.go.jp/hourei/doc/tsuchi/T210826I0040.pdf>

・「ペムブロリズマブ（遺伝子組換え）製剤の最適使用推進ガイドライン（乳癌）の作成及び最適使用推進ガイドラインの一部改正」

https://www.jspho.org/files/oshirase/20210903_2.pdf

関連 URL は以下のとおりです（リンク先の医薬・生活衛生局をクリックして下さい）。

<https://www.mhlw.go.jp/hourei/doc/tsuchi/T210826I0050.pdf>

・「ニボルマブ（遺伝子組換え）製剤の最適使用推進ガイドライン（腎細胞癌）の一部改正について」

https://www.jspho.org/files/oshirase/20210903_1.pdf

関連 URL は以下のとおりです（リンク先の医薬・生活衛生局をクリックして下さい）。

<https://www.mhlw.go.jp/hourei/doc/tsuchi/T210826I0030.pdf>

・厚生労働省医薬・生活衛生局監視指導・麻薬対策課より「令和2年度 販売情報提供活動監視事業報告書について」

【概要】令和2年度_販売情報提供活動監視事業_報告書_20210818

https://www.jspho.org/files/oshirase/20210825_1a.pdf

【本体】 令和 2 年度_販売情報提供活動監視事業_報告書_20210818

https://www.jspho.org/files/oshirase/20210825_1b.pdf

関連 URL は以下のとおりです。

厚労省 HP「医薬品等の広告規制について」の「3. 販売情報提供活動監視事業（旧医療用医薬品の広告活動監視モニター事業）」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/iyakuhin/koukokukisei/index.html

・「ゲル充填人工乳房及び皮膚拡張器植込み患者等における乳房インプラント関連未分化細胞型リンパ腫（BIA-ALCL）の発生及び植込み患者等に対する情報提供について」

関連 URL は以下のとおりです。

<https://www.jspho.org/files/oshirase/20210820.pdf>

・「レギュラトリーサイエンス戦略相談に関する実施要綱の一部改正について」

https://www.jspho.org/files/oshirase/20210819_1.pdf

関連 URL は下記のとおりです。

令和 3 年 8 月 1 日付け薬機発第 0730003 号独立行政法人医薬品医療機器総合機構理事長通知（※新旧対照表付）

<https://www.pmda.go.jp/files/000239796.pdf>

「レギュラトリーサイエンス戦略相談に関する実施要綱」（令和 3 年 8 月 1 日改正）

<https://www.pmda.go.jp/files/000239795.pdf>

・「エレヌマブ（遺伝子組換え）製剤の最適使用推進ガイドライン（片頭痛発作の発症抑制）について」

https://www.jspho.org/files/oshirase/20210819_2.pdf

関連 URL は以下のとおりです（リンク先の医薬・生活衛生局をクリックして下さい）。

<https://www.mhlw.go.jp/hourei/new/tsuchi/new.html>

・「フレマネズマブ（遺伝子組換え）製剤の最適使用推進ガイドライン（片頭痛発作の発症抑制）について」

https://www.jspho.org/files/oshirase/20210819_3.pdf

関連 URL は以下のとおりです（リンク先の医薬・生活衛生局をクリックして下さい）。

<https://www.mhlw.go.jp/hourei/new/tsuchi/new.html>

・「テセルパツレブの最適使用推進ガイドラインについて」

https://www.jspho.org/files/oshirase/20210819_4.pdf

関連 URL は以下のとおりです。

<https://www.mhlw.go.jp/hourei/doc/tsuchi/T210812I0010.pdf>

(9) 【再掲】 疾患登録アセント文書の公開

＜20 歳未満に発症する血液疾患と小児がんに関する疫学研究＞（学会疾患登録）第 4 版につきまして、この度、新たに当研究計画の施設倫理審査承認を得た施設は、その承認書を学会事務局へご提出ください。

今回、アセント文書（高学年用および低学年用）を作成し、学会研究審査委員会の承認されましたので、HP に掲載致しました。

- ・アセント文書(低学年用)

https://www.jspho.org/files/touroku/20210202/assent_tei.pdf

- ・アセント文書(高学年用)

https://www.jspho.org/files/touroku/20210202/assent_kou.pdf

- ・学会審査承認書(アセント文書)

https://www.jspho.org/files/touroku/20210202/syoninsyo_assent.pdf

すでに当研究計画書第 4 版の施設倫理審査承認を得ている施設におかれましては、アセント文書追加の変更申請を各施設の体制に従って行っていただきますようお願いいたします。

また、これから施設倫理審査を新規申請する施設は、アセント文書も含めて倫理審査を実施くださいますようお願い申し上げます。

(10) 【再掲】 移植後予防接種の現状と生ワクチン接種効果に関する研究開始のお知らせ

この度、本学会の造血細胞移植委員会では、本邦小児における SCT 後予防接種の現状の把握と有効な生ワクチン接種のための免疫学的指標を明らかにすることを目的として、

「本邦小児における同種造血幹細胞移植後予防接種の現状と生ワクチン接種効果への関連因子の調査研究」を開始いたします。研究は、施設調査と症例調査の 2 つのアンケートにて構成されています。

会員の皆様におかれまして、下記「ご協力のお願い」をお読み頂き、ご協力を賜れますよう、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

- ・「研究へご協力のお願い」（2021 年 6 月更新）

https://www.jspho.org/files/oshirase/20201005_1v3.pdf

- ・研究計画書（2021年6月更新）

https://www.jspho.org/files/oshirase/20201005_2v2.pdf

- ・施設長へのお願い

https://www.jspho.org/files/oshirase/20201005_3.pdf

- ・研究代表者施設倫理委員会承認書（2021年6月更新）

https://www.jspho.org/files/oshirase/20201005_4v3.pdf

- ・情報公開文書（2021年6月更新）

https://www.jspho.org/files/oshirase/20201005_5v2.pdf

- ・施設調査票（サーベイモンキー）

<https://jp.surveymonkey.com/r/WH68QX5>

- ・患者調査票（エクセルファイル）

https://www.jspho.org/files/oshirase/20201005_6v2.xlsx

発行：一般社団法人 日本小児血液・がん学会 社会・広報委員会

配信：一般社団法人 日本小児血液・がん学会 事務局

※本メールは発信専用アドレスからの配信のため、本メールへの返信をこちらで受信することはできません。